



2012.6.5

No.221

MONTHLY

# れんごう

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろうビル6F TEL (011) 210-0050

発行責任者

出村 良平

center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 拳党一致で国民の生活最優先の政治を！

民主党と連合 北海道ブロックとの懇談会

連合北海道は、5月26日、札幌市内で民主党本部、連合本部との懇談会を開催した。これは、連合の全国9ブロックで開催しているもので、民主党からは輿石幹事長、樽床幹事長代行など12名、連合本部からは南雲事務局長他2名が来道し、連合北海道は、工藤会長をはじめ会長代行、副会長、事務局長、副事務局長など13名が出席した。

懇談会では、工藤連合北海道会長から、「今、家庭や社会の傘から出された人が多くいる。民主党は国民の負託に応え、国民の生活最優先の政治を行うためにも、拳党一致の党内運営を行ってもらいたい」「地域の体制は道連・総支部・支部となっているが、支部は道内全市町村の半分も作られていない」「各級議員とも、有権者への説明責任を果たしていないため、期待から失望に繋がっている。議員の顔が有権者に見える活動をお願いしたい」と要望した。



また、出村事務局長は、「各選挙区とも厳しい情勢である。政策の成果を訴えるのも重要だが、実現できなかったことの理由等を整理する必要もある。」と、意見を述べた。

この他、連合本部南雲事務局長からの「北方領土問題について党の考えが見えない。現地で老朽化している旧日本家屋の対策等も何もない」との意見や、林会長代行、各副会長からも発言がなされた。

これに対し民主党からは、「組織強化のための支部整備の方針を立て、現在、整備を進めている」「マニフェストはこれから整理していくが、出村事務局長の発言は参考になった」「領土問題も、党の考えが見えない象徴であると思う」「連合本部で古賀会長とも郵政問題と公務員4法案について約束をした。約束は必ず守る」と、現在の状況や今国会における今後の決意を述べて、懇談を終了した。

〈この記事のアドレス〉 [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012052601\\_minsyu-kondan.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012052601_minsyu-kondan.html)

**連合が考える  
社会保障と税の  
一体改革とは**

詳しくは特設サイトをご覧ください!  
<http://shakaihoshosho.com/>

連合 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11  
TEL 03-5295-0520 FAX 03-5295-0546

# 渡島地協 第3期ユニオンスクール第2回学習会開催

## 「職場の問題解決とコミュニケーション」などを学習

第3期ユニオンスクール第2回学習会が5月19日(土)・函館市内パークホテルにおいて行われた。

前回同様に、連合北海道組織対策局・皆川次長を講師として行われた学習会のテーマは(1)グループワーク1「DVD視聴とグループ討論」(2)「経営分析」講座(3)グループワーク2「職場の問題解決とコミュニケーション」の3課題。

労働組合の闘いの歴史の中から学ぶ「DVD視聴とグループ討論」では、視聴後に各グループで感じたことを率直に出し合い、討論を行うと共に、昨今希薄となっている労働組合の必要性と職場における取り組みの重要性について学び合った。

また、講座「経営分析」では、労働組合としても経営分析を通じて労働条件の維持・向上・拡大を如何に求めていくかの必要性について話し合いが進められ、簡単な分析方法や経営状況のチェックの仕方について提起された。

時間を費やしたのはグループワーク2「職場の問題解決とコミュニケーション」の学習で、情報の伝達・コミュニケーションが極めて重要であるにも関わらず、どのようにすれば的確に意志を伝えることが出来るのかに受講生は神経を集中させていた。

取り組みの入口から理解が誤ったばかりに最後までコミュニケーションが図られなかつたグループや、要領よく進めて余裕を持ったグループ、頭を抱えて悩む受講生や講師の指導に真剣にメモを作る姿等々、和気藹々の雰囲気



の中にも真剣さがみられる学習会となり、あっという間に4時間が経過し、2回目の学習会も悪戦苦闘の中で終えることとなったが、受講生の顔には満足感が見えていた。

今回の学習会には、ユニオンスクールの経過と状況を聞いて是非参加をしてみたいとの意欲に満ち溢れた女性委員会役員が、オブザーバーとして飛び入りで参加をしていたのも特徴的でもあった。

第3回目の学習会は8月を予定しており、地域内でも話題となっている「模擬団体交渉」の実施となるが、今から心の準備と学習を行うよう要請が行われ、2回目の学習会を終えた。

〈この記事のアドレス〉 [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012051901\\_oshima\\_uschool3-2.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012051901_oshima_uschool3-2.html)

# 「男女平等参画推進学習会」開催される

## 連合十勝地協・帯広地区連合会合同で

連合十勝地協と帯広地区連合会合同の「男女平等参画推進学習会」が5月12日、帯広市のとかちプラザにて開催された。この学習会は連合の男女平等参画推進計画の方針を受け、男女平等参画推進をしっかりと進めていきた

いということで女性委員会設立に向けた取り組みの第一歩の集会となった。十勝管内から90名以上の多くの仲間が集つたことから男女平等参画推進に向けての意識の高まりが窺えた。

冒頭、十勝地協中村会長から「状況を認識し情報交換をしながら男女平等参画を進めていきたい。アドバイスをもらいながら各地域、各自治体へ発信していきたい」との挨拶があった。

連合北海道渡辺副事務局長（連合北海道男女平等局長）からは、現在の女性委員会の活動、2012春季生活闘争の現状報告と最低賃金の重要性の説明があり、最後に「男女平等参画の推進が遅れている。まだまだ男女平等参画に向けた意見交換も不足しているので、十勝地域が全道を引っ張る活動を行ってほしい」と訴えられた。

学習会は、連合北海道女性委員会黒瀬事務局次長より「職場環境の変化と労働組合の役割」をテーマとして、



NTTにおける経営業態見直しの歴史と労働組合の対応に加え、連合運動（特に男女平等の取り組み）について講演を受けた。時代の変化に伴う経営対策のあり方や労働組合としてどう考えるのか、また、次代を創っていく会社を作ることの大切さについては興味深いものがあった。その他具体的な数値・グラフから女性差別が残る雇用制度・企業慣行と家庭における役割分担の問題点などの解説がされた。

「情報交換会」では参加した12産別・単組より職場環境や組合組織割合、現在の活動状況について報告が行われ、職場での若年層の減少や組合離れの問題、職場環境の変化によるワークライフバランスの低下などさまざまな問題点が上げられた。また、改めて職場環境整備の必要性と男女平等参画推進について労働組合がしっかりと進めていかなければならないということが確認できた。

連合北海道女性委員会山田委員長から「まとめ」として、連合の統一目標になっている(1)運動方針に男女平等参画を明記すること、(2)女性役員ゼロをなくすことについてそれぞれの単組で信念をもって進めてほしいと述べられ、6月の「男女平等月間」の取り組みに向けて男女平等参画をめぐる状況と課題が確認された。

最後に帯広地区連合岡坂会長から「今日の集会で地域の取り組みの第一歩が進められた。今後は地域での



男女平等参画推進の取り組みを高めていきたい」との強い意志が伝えられ第一部を終了した。

第二部の交流会でも各職場の状況や地域の活動などが話題になり、膝詰めでの意見交換や交流の場の大切さが実感できた意義深い集まりとなった。

今回の学習会で男女平等参画推進に関する事項を再確認することができたこと、また、それぞれの単組での意見交換ができたことは大きな収穫であった。再度、学習会の総括を行ない、今後益々の活動を期待していく。

〈この記事のアドレス〉 [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012051201\\_danjo\\_takachi.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012051201_danjo_takachi.html)

## 初めての「田植え」に一喜一憂！ アジア・アフリカ救援米作付けを実施

前日までの天気予報とは打って変わったあいにくの曇天の6月2日、北斗市において「アジア・アフリカ救援米作付け(田植え)」が行われた。

前日夜半の降雨で開催が危ぶまれたが、多少の肌寒さを感じながらも組合員・家族・退職者等35名が参加し、例年通り午前10時にスタートした。

冒頭、挨拶に立った「食・みどり・水を守る労農市民会議」米坂事務局長から、この取り組みの重要性と「食と環境」について見つめ合う機会として捉えてほしいと挨拶が行われた後、早速、田植えが開始された。

参加者の大半は初めての田植えで、前日の降雨で水かさの増した田んぼに恐る恐る足を踏み入れていたが、中には感触の怖さに泣き出し、母親にすがる子供もいた。

事前につけて頂いた印を頼りに一斉に苗を植え始めるトムードは一転し、楽しい雰囲気に包まれた中での作業が続けられた。

足が抜けなくなって助けられる人、直線のつもりの苗が曲線を描いている人、投げられた代わりの苗をキャッチ出来ず泥まみれになる人、岸辺から子供に支持する親等々、あちらこちらで歓声やら奇声やら、微笑ましい渦の中で繰り広げられていた。

中には、「カエル」を見つけて怖がる子、のぞきに来る子、遊ぶ子と様々。



後半には気温も上昇し汗ばむ温かさになり、おおよそ1時間に及ぶ「ドロ(泥)との格闘」の終えた田は、新しい苗で生き生きした田んぼに生まれ変わり、秋の収穫まで無事にすくすく育ってくれることを祈らずにはいられなかった。

自分が植えた米を、自分の手で刈り取るために秋も参加することを確認し、昼食交流を経て本年の田植えを終えた。

〈この記事のアドレス〉 [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012060201\\_oshima\\_aarice.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2012060201_oshima_aarice.html)

# 中国・河南省総工会代表団が表敬訪問

## 連合三重との定期交流から

連合三重（土森会長）と定期交流をしている中国・河南省総工会代表団（団長：李玉家副主席）5名は、5月28日連合北海道を表敬訪問した。連合北海道の工藤会長は「ようこそ北海道にいらっしゃいました、心から歓迎いたします。連合北海道は黒龍江省と交流しており、日中国交正常化40周年の記念する年に来ていただき、北海道の自然・食を満喫して下さい」と歓迎の挨拶を述べた。

歓迎の挨拶に対し李玉家団長は「今まで三重県近郊で交流をしていましたが、北海道に来ることができて大変悦ばしく思っています。今後、私たちの交流が中国と日本の交流において益々花を咲かせ、実を結ぶ事を祈っています」との挨拶がなされた。引き続き連合三重の土森会長からは「河南省との交流は三重県福祉協議会が交流のはじまりであり、1990年に定期交流の協定を締結し、本格的に交流が開始された。今回は、日中国交正常化40周年ということもあり、河南省総工会の希望から北海道訪問となつたが、受け入れしていただいた連合北



道に感謝申し上げたい」旨の挨拶がなされた。

懇談では、連合北海道の組織体制および活動の取り組みについて質問を受け、各担当局長が対応を行った。その後、道庁を表敬訪問し、山谷経済部長他と懇談後、午後からは、オーエスマシナリー株式会社小樽工場（JAM加盟組織：渋谷委員長）を訪問した。

企業概要の説明を受けた後、工場（缶・蓋・ペットボトルの金型設計など）見学を行い、熱心に説明に耳を傾けていた。懇談では安全衛生の取り組みを中心に質問が集中したが、日本の「ものづくり」の精度の高さに改めて感心を寄せていた。河南省総工会は、小樽方面を見学し、5月31日に帰路についた。なお、連合北海道は6月29日～7月4日の期間で黒龍江省受け入れを行う。



### ※河南省

北京の南部に位置し、人口1億人、工業・農業共に発達が目覚しく、小麦、タバコの葉、巻きタバコ、ごま、トラクター、ペアリングの生産量で中国トップ。省都は鄭州（ていしゅう）。



### 6月の主な動き

- 男女雇用機会均等法集会  
2日（土）13:00／ホテルノースシティ
- 第28回労働福祉対策特別委員会  
6日（水）13:30／ガーデンパレス
- 矢臼別反対全道集会  
10日（日）10:00／中標津町丸山公園
- 第9回中央執行委員会  
14日（木）13:30／総評会館
- ハイタク政策実現集会・車輛パレード  
17日（日）13:00／ハイヤー協会
- 全国一斉労働相談  
18日（月）10:00～19日（火）／連合北海道
- 第5回エネルギー環境政策委員会  
18日（月）13:30／ポールスター札幌

### イベントカレンダー

- 第2回最賃対策委員会  
19日（火）15:00／連合北海道会議室
- 平和行動in沖縄  
21日（木）～25日（月）／那覇市
- 働く女性のための集中労働相談  
23日（土）10:00／連合北海道
- 第9回執行委員会  
27日（水）10:30／ロイトン札幌
- 第50回地方委員会  
27日（水）13:30／ロイトン札幌
- 黒竜江省（中国）定期交流  
29日（金）～7/4（水）
- 第7回全道中小労働者研修集会  
30日（土）13:00／北見市ホテル黒部